



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

若者に雇用の安定を 希望ある未来を!

2012年成人の日



全国で122万人が「成人の日」を迎え、足立区は6055人が新しい門出を迎えました。1月9日、足立区では「成人の日」が綾瀬の東京武道館で式典が行われ、私・伊藤和彦も参加しました。

私は成人のみなさんに心からのエールをおくります。

新成人のみなさんは3・11大震災と福島原発事故という戦後未曾有のありさまを目のあたりにして、毎日の暮らしてや将来にさまざまな思いをめぐらしてきたのではないのでしょうか。

多くの青年が「自分に何ができるか」を考え、思い思いに声を上げ、行動していることを新聞報道で知りました。被災地にボランティア支援、「原発ゼロ・放射能から子どもを守りたい」と集会や各地でのデモや活動で、若い世代が行動に踏み出している、未来は青年のものという実感をしています。私は得意ではありませんが、ネットやツイッターの呼びかけで参加した青年も多くいました。昨年9月19日・明治公園の集会などに参加して心強く思ったものです。

これまで「自己責任」論を押し付けられバラバラにされた若い世代が大災害や原発問題で社会的連帯を広げ絆をつくり、社会のあり方や自分の生き方を問い、探求と行動を多彩にしていることは新しい希望ある流れです。若者の雇用拡充を!と区議会で繰り返し取り上げ前進させてきました。

いま青年の共通する課題は、この国が余りにも異常なアメリカ力言いなり、財界・大企業の横暴な支配という「2つの異常」にメスを入れることに踏み出すことこそ、未来が開かれたいが実現できるのです。激動する時代に希望ある日本、東京、足立を一緒につくっていきましょう。

貧困と格差をなくして人間らしく働く、生き方をする活

写真上は成人の日に東京武道館前で訴える伊藤区議、右は大島よしえ都議(1月9日)



写真左は成人の日に街頭宣伝する足立区議団。右は新成人と記念写真・1月9日。下は西新井大師に参拝する人たちに挨拶する大師前駅で伊藤和彦区議と区議団、中央は笠井亮衆院議員、宮本徹さん。1月元旦



動に期待します。



写真左は大師前駅で新年挨拶を行う区議団と伊藤区議、右は笠井亮衆院議員。写真右は足立区名詞交換会・足立区役所・庁舎ホール 1月5日



生きがい奨励金の廃止?を検討—近藤区長



総務委員会の質疑で区が、生きがい奨励金の見直しを検討していることが明らかになりました。「事務事業見直しの庁内評価、区民評価結果について」の報告の中では、その他にも20の事務事業について見直しについて言及しています。

7日総務委員会
質疑より)

12月議会で学
校開放事業の有

生きがい奨励金とは

かつて廃止した「敬老祝い金」。

他自治体では敬老の日に支給され、足立のお年寄りだけがもらえず市長がポケットマネーで支給(伊豆山の特養ホーム)などに批判が集中し、復活運動が広がりました。その後21年前に「生きがい奨励金」として名前を変えて復活。以前は70才以上の高齢者に最高7000円を現金で支給。現在は商品券で4000円分支給しています。

要」と提起をした上で、区民評価をにかけている。一般のローカル紙にも近藤やよい区長が「今後の予測、生きがい奨励金支給は個別の事業に振り分ける」とある。廃止することを考えているのか。この評価からどう結論づけているのか。

区長「20年前と現在と人口の構成が全く異なっている中で、かつて20年前に始めた事業がその前提となる条件を加味しないまま、未だに残っているものがある。これからさらに高齢化が進んでいく中で、やはり前提となる条件が異なってきている以上は同じ高齢者にお金をかけるについても優先的なお金の使い方を考えなければならない。1つ例示として出して、区民の方に問題提起をさせていただいても一緒に考えていただきたい。そういう一例として申し上げます。(12月

区ではない」「見直しが必

12月の総務委員会で日本共産党の質問に近藤やよい区長が次のように答弁しています。

共産党質問—行政の方で問題意識を持つている事務事業。その中に生きがい奨励金支給事務がある。庁内評価では財政課が見直しの検討の問題提起をしている。庁内評価では「生きがいづくり策として金銭給付の区はない」「見直しが必



1つ例示として出して、区民の方に問題提起をさせていただいても一緒に考えていただきたい。そういう一例として申し上げます。(12月

料化、生業資金・鹿沼野外レクリエーションセンターの廃止など次々と区民サービスきりすて、介護保険料の大幅値上げも打ち出しています。さらに追い打ちをかけるように大改悪のもくろみです。



住民とともに放射線量測定する伊藤和彦区議 東保木間にて。



のではないのでしょうか。

区民の暮らしは大変、区は史上最大のため込み金1082億円。政治の姿勢が間違っている

大島よしえ都議からメッセージが届きましたので紹介します。

新年おめでとうございます。いま民主党は、国民の

「政権交代」への期待を裏切つて、完全に「自民党化」し、何の展望が示せないまま暴走を続けています。都政でも、民主、自民、公明

党は石原知事と一緒に、今年も全力でがんばります。今年は解散総選挙も予想されます。そして来年は都議選、参院選の年です。

私は、こうした石原都政と対決し、消費税増税を許さないたたかいははじめ、防災対策強化、仕事確保、社会保障の充実など、都民のいの

2012年1月15日
都議会議員 大島よしえ



「正規雇、撤退、めどと」

